

平成21年4月23日

各位

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ
 代表者 執行役社長 大林 秀仁
 (コード番号 8036)
 問合せ先責任者 社長室部長代理 加藤 弘之
 (TEL 03-3504-5138)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年1月21日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	760,000	17,000	18,300	9,100	66.16
今回発表予想(B)	774,950	14,909	16,475	7,075	51.44
増減額(B-A)	14,950	△2,091	△1,825	△2,025	
増減率(%)	2.0	△12.3	△10.0	△22.2	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	943,124	49,141	48,705	26,932	195.80

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	602,000	10,850	17,900	13,100	95.24
今回発表予想(B)	601,826	8,191	15,243	4,177	30.37
増減額(B-A)	△174	△2,659	△2,657	△8,923	
増減率(%)	△0.0	△24.5	△14.8	△68.1	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	741,203	34,300	36,838	27,730	201.60

修正の理由

(1)平成21年3月期連結業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

欧米市場向け生化学・免疫分析システム等の出荷増により、売上高は前回予想を上回るものの、半導体製造装置、液晶関連製造装置の操業度悪化、たな卸資産評価損等により、営業利益は前回予想を下回る見込みです。また、事業構造改革を推進する為、減損損失や事業構造改善費用を特別損失に計上したこと等により、経常利益及び当期純利益も前回予想を下回る見込みです。

(2)平成21年3月期個別業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

連結と同様な理由に加え、連結子会社に対する貸倒損失等を特別損失に計上する見込みから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回発表の業績予想を下回る見込みです。

以上のような状況に鑑み、上記の通り、平成21年3月期業績予想を修正します。

以上